

MEDICAL FAIR THAILAND 2019

2019.9.11-13 / バンコク・BITEC



出展者の声

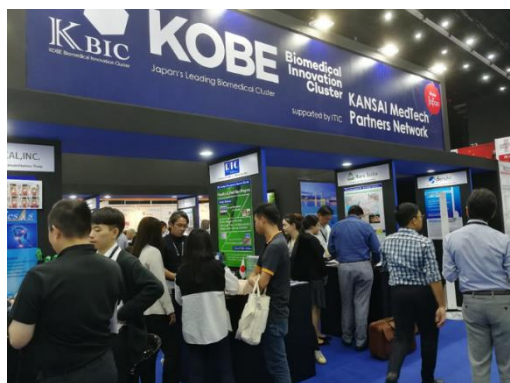
シンガポールでのメディカル・フェアと合わせて 6 年連続のパビリオン出展となる [東京都中小企業振興公社](#)。



「東京都の中小企業 12 社と共に出展した。メディア等の訪問もあり、連日盛況で、東京の製品に対する期待度の高さをうかがうことができた。出展企業からは、「タイのみならず東南アジア各国のディストリビューターの来場が多数あり、有意義な商談ができた」との声が多かった。既に具体的な商談が複数進んでおり、出展の効果を早くも

実感しているところである。今後とも Medical Fair を通して ASEAN でビジネスが展開していくことを期待している」

Kansai としての共同パビリオンで出展の [神戸市の先端医療振興財団](#)、[大阪商工会議所](#)。



「初日から、VIP 関係者の訪問や、シンガポールのテレビ局の取材を受けた神戸医療産業都市の共同出展ブースですが、今年も昨年の MEDICAL FAIR ASIA に引き続き、KANSAI MedTech Partners Network として 17 社とともに共同出展しました。会期中、来場者の流れが止まることなく、タイ国内外の来場者で大変にぎわいました。過去最高となる約 1,400 件の商談を実施し、タイ

が医療機器開発企業にとって魅力ある市場であり、ハブであることを再認識しました。今回の来場者へのお礼とフォローアップを行いつつ、来年のシンガポールで開催される Medical Fair Asia を見据えた準備に取り掛かりたいと思います」

[株式会社 TBA](#) (感染症遺伝子検査紙)

「3 日間、弊社ブース来訪や他社ブース訪問にて、多くの面談を持つことができました。ブース来訪ではタイ、フィリピン、台湾をはじめアジア各国から来訪者があり、企業だけでなく政府関係者との話もできました。出展者も参加者もアジア各国から多数集まるので、既存取引先との面談にも、新規取引先の開拓にも効果的だと思います」

株式会社フジタ医科器械 (Vital Information Multi-Monitoring System)

「当社の展示品に興味を持ち、訪れて下さった方々は多かった。色々な業種の方がいらっしゃり、展示品のアピールはもちろんできましたし、情報収集もできました。当社の製品はまだ当地の認証を取得していませんが、認証取得可能となれば、よりビジネスに繋がると思います」

エレクター株式会社 (病院・老人施設の厨房用製品)

「弊社同様の製品は少なく逆に目立って良い商談ができました。予想以上にタイ以外の東南アジアの来場者がいらっしゃいました。特にフィリピン、マレーシア、インドネシアの方が多く、これからの展開に期待が持てそうです。タイ国内からは病院や老人施設関係者が多く、経営層の方々も多くいらっしゃいました。日本の同類の展示会と比較して、非常に購買意欲を感じました。日本の展示会は情報収集の要素を強く感じます」

株式会社アール・ティー・シー (Body Balancer)

「タイはじめ ASEAN 諸国の前へ進む力強さをあらためて感じた。リスクよりチャレンジベネフィットを優先する彼・彼女らの気持ちは力強い。医療のみならず高齢者ケアや健常ヘルスケア、フィットネスにも高い関心がある。タイは医療ツーリズムの先進国である。日本は後進国。医療機関と地域で国内格差があるものの、日本よりも優れた機関や仕組み、機器導入が進んでいる部分が多くある。ASEAN での展開は必然であり、それをしないほうが日本企業にとってリスクである」

木田バルブ・ボール株式会社 (ヒップインプラントパーツ)

「ブース位置がメイン入口から遠いにも関わらず人通りが多く特に初日が盛況でした。シンガポールでも同様でしたがディストリビューターの来場者が多かった。インプラントメーカー及びその下請け業者が我々のターゲットで数は少ないが数社名刺を頂いた。帰国早々にインドネシアのディストリビューターからメールで問い合わせがあり早速情報交換をした」

株式会社サンメディカル (治療器)

「今回が初出展ではありましたが、想像以上に多くの方がブースに立ち寄られ、実際に治療器を体感していただくことで製品の魅力を様々な国の方に伝えることができました。具体的な引き合いもいただき、今後の海外展開の足掛かりとして有意義な出展であったと感じております」